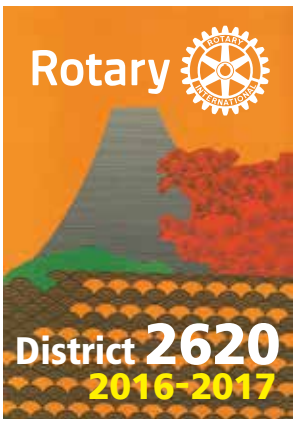
国際ロータリー第2620地区　ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



2017. 7
No.13

CONTENTS

② ガバナー挨拶
③ アトランタ大会報告
第５回諮問委員会報告
④ 青少年奉仕ミーティング
⑥ 一年間をふりかえって
（ガバナー補佐）
⑩ クラブビルダー賞
⑪ 甲府シティＲＣ創立25周年
⑫ 浜松東ＲＣ創立60周年
⑬ 静岡中央ＲＣ創立30周年
⑭ パワー浜松ＲＣ創立15周年
⑮ 浜松西ＲＣ創立40周年
⑯ 御殿場ＲＣ創立50周年
⑰ ＲＡＣ国際奉仕事業
⑱ 新会員紹介
⑲ ハイライトよねやま
⑳ お知らせ

アトランタ国際大会　2620地区の地区ナイトの会場にて

Rotary

人類に
奉仕する
ロータリー

国際ロータリー 第2620地区
2016～2017年度 ガバナー事務所
〒424-0829　静岡市清水区巴町 6-7　桒原ビル３階
TEL. 054-352-2620　FAX. 054-352-2622
E-mail : 16to17g.shoji@ri2620.gr.jp

一年間ありがとうございました！！

国際ロータリー 第2620地区
2016～2017年度 ガバナー
生　子　哲　男（清水中央ＲＣ・獣医師）

直前ガバナーの生子です。ついに、この挨拶文を書く時が来ました。皆様この一年間のロータリー活動はいかがでしたか？　ロータリー活動を楽しみましたか？

このガバナー月信13号は2016～2017年度の月信最終号です。前年度までの地区の活動報告や、アトランタ国際大会報告等を掲載いたします。

アトランタ国際大会につきましては、当地区から37名の登録をいただきました。大変遠いところでの国際大会でしたが、ご参加ありがとうございました。

国際大会全体の参加者は約35,000人程で、日本全体では2,300名の参加申し込み、そして日本人朝食会は800名とこれも大盛況でした。開会式の晩には当地区の地区ナイトを開催し、29名のご参加をいただき、ステーキレストランでアメリカの美味しい分厚いヒレ肉を楽しみました。ありがとうございました。

国際大会での楽しみの一つが友愛の広場です。日本からのブースも出店されていましたが、様々な国のブースがあり、じっくり見て回るだけで２～３時

間はかかりますが、見て歩いているだけでも色々と面白いロータリーグッズが売られていて、これもまた楽しいものです。

同時通訳付きの分科会も３日間にわたり開催されました。何回か国際大会に参加していると、だんだん様子が分かってきますので、次の機会にはもっと色々な面で上手く参加できるかと思います。そして、国際大会のもう一つの楽しみは観光です。せっかく遠くまで行くのですから、その国の美味しいものと観光は外せません、今回も大いに楽しんできました。

地区の運営では、会員増強、財団寄付、米山寄付など､色々とお願いばかりしましたが､７月のスタート時3,000名を割っていた当地区の会員数が、3,000名を少しだけ超した状態になり、ほっとしています。皆様の努力のおかげです。松村年度ではこの会員数を維持し、さらには増強を続けていただきたいと思います。

ガバナーノミニー、ガバナーエレクトの時から今日まで、地区役員の皆様や、各クラブの会長・幹事の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

国際大会アトランタ大会報告

2016～2017年度ガバナー　生　子　哲　男（清水中央ＲＣ）

第108回のロータリー国際大会アトランタ大会は、ジョージア州アトランタ市で６月10日㈯から６月14日㈬まで、アトランタ市の中心部のジョージア・ワールド・コングレスセンターで開催されました。

開会本会議は１階の大きなホールをメイン会場として、午前の部と午後の部に分けて行われました。日本からの参加者は2,300名で、アメリカに次ぐ出席数だそうです。世界からの参加者は約35,000名程だそうです。そして日本人朝食会が約800名で、こ

こへの参加費の一部はロータリー財団と米山学友会への寄付金に当てられ、それぞれの金額はロータリー財団が100万円、米山学友会が70万円となりました。

第2620地区からは37名の参加登録がありました。地区ナイトは29名の方が参加され、大変盛り上がり、懇親を深めることが出来ました。ありがとうございました。

第５回地区諮問委員会報告

地区幹事　渡　邉　英　昭（清水中央ＲＣ）

６月24日㈯　ＪＲ静岡駅前のホテルアソシアにおいて第５回地区諮問委員会が開催されました。

冒頭、今回から安間みち子ガバナーノミニーデジグネートの地区幹事を担当する中村皇積氏が新たにオブザーバーとして出席することの報告があり、全員一致で了承しました。

続いて生子ガバナーから、アトランタ国際大会に参加した報告がなされました。

諮問事項として、

１．分区編成の見直しの件
２．地区運営規定の見直しの件
３．公益財団法人米山梅吉記念館運営に関する件
４．地区事務所検討経過進捗状況報告
５．ロータリー・リーダーシップ研究会の件

以上の内容を検討しました。

終了後、簡単な懇親会を行い、松村ガバナーエレクトが次年度に向けての抱負を示され、パストガバナーからそれぞれ激励のお言葉をいただきました。

本年度最後の諮問委員会となりましたが、皆様のご協力により、無事終了できました。

関係各位のご協力とご支援の改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

青少年奉仕ミーティング報告
青少年交換：さよならオリエンテーション
インターアクト：国内研修

6月17日㈯・18日㈰　国立中央青少年の家

青少年交換小委員会 委員長　リビー・ジョーセフ・マテュー（パワー浜松ＲＣ）

６月17日㈯から18日㈰に、国立中央青少年の家（御殿場）にて、地区インターアクト委員会と青少年交換小委員会、ＲＩ第2600地区（長野）青少年交換委員会合同の青少年奉仕ミーテイングを開催しました。

例年、受入学生の最後の研修として、「さよならオリエンテーション」が開催され、受け入れ学生の１年間の報告会がされています。

本年度は、「インターアクトの国内研修」と合同で行うことで、インターアクターとの共同での宿泊を伴う活動を通して、国際理解を深め、友情の輪を広めることを目的としました。

受入学生の帰国前報告は、2620地区（静岡・山梨）から４名、2600地区（長野）より４名（内短期１名）が行われ、インターアクターや顧問先生、青少年交換クラブ担当者やホストファミリー、青少年交換学友という、例年より多くの聴衆者がある中でおこなわれました。

発表は１年という長くも短い交換期間に、これだけ素晴らしい体験をして、苦難を乗り切り、多くの

友人や家族を日本に作ったという、感動がいっぱい詰まったものでした。

青少年交換に携わる委員会メンバーとしては、１年間の長期交換を終えて、無事に受入学生を自宅に返せる安堵感と達成感、これから始まる次期の派遣受け入れに向けてのスタートに身が引き締まる思いのオリエンテーションでした。

インターアクト小委員会 副委員長　増　田　孝　枝（焼津南ＲＣ）

６月17日㈯・18日㈰に、御殿場にある国立中央青少年交流の家で青少年交換小委員会、青少年交換学友委員会、インターアクト小委員会合同で、100名余りが出席して青少年ミーティングが行われました。

インターアクトクラブは、大勢の前で活動報告などする機会がない中、ミーティングの最初に活動報告をする時間を設けて頂き発表することができました。たいへん良い経験になった事と思います。

また交換学生の発表で日本に来てからの苦労や喜びの体験報告を聞いて、インターアクターはもちろんインターアクト小委員会のロータリアンも刺激を受けた事と思います。このような事業は、地区の青少年奉仕委員会全体を考えた時にたいへん重要な事だと感じました。また第2600地区からも交換学生、ロータリアンが、参加してくださって盛大に開催することができました。

そこで2600地区では、インターアクターを短期交換学生として、毎年ハンガリーに送り出しているとのお話がありました。当地区では、インターアクト小委員会の海外研修がなくなり、７，８年が経過しています。できれば今後、短期交換学生をインターアクターから選出していただければ地区青少年奉仕委員会全体の活性化につながるのではないかと思いました。

インターアクト小委員会では、初めての事業でしたので、青少年交換小委員会、青少年交換学友委員会の皆様のお世話になり大変申し訳なく思っております。このような良い事業に参加させていただき有難うございました。

2016-2017年度 ガバナー補佐

一年間をふりかえって

山梨第１分区 ガバナー補佐

田 辺 重 機（塩山ＲＣ）

昨年７月からのガバナー公式訪問にお供をしてから、今年６月まで各クラブを４回訪問いたしました。慣れないことですので緊張しながら夢中で過ごした１年でありました。

前期より提唱されておりました「新クラブ結成推進」に沿って新クラブ「甲斐の郷ロータリークラブ」が誕生し、12月７日に認証状伝達式が行われ、山梨第１分区は８クラブになりました。新クラブの発展を祈念申し上げます。

11月19日・20日の地区大会では、クラブの会長・幹事の皆さんには屋台村、物産店でのお手伝いを頂きましてありがとうございました。

今年度のＩＭは初めての試みですが、山梨全４分区が合同で開催いたしました。ノーベル医学生理学賞を受賞されました大村智博士のご好意で記念講演をして頂ける運びとなりましたので、その準備に年度初めから毎月補佐会議を開き、アドブレーン社の協力を頂き４月23日に開催いたしました。当日は一般県民の方も含め総勢1,200名が会場を埋めました。全クラブの皆様には多大なるご協力を頂き、お陰様で盛会裏に終えることができました。

生子ガバナーが提唱されていました「楽しいロータリー活動の一年に」の下、１年間素晴らしい経験をさせて頂きました。皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

山梨第２分区 ガバナー補佐

大 村 義 之（甲府南ＲＣ）

１年間、山梨第２分区の会長・幹事・会員の皆様には多くの御協力を頂き、地区目標が大方は達成出来ました事に先ずは感謝申し上げます。

特に甲府南ＲＣの会員増強12名は驚きと感動がありました。「やればできる」の一言に尽きるのでしょうか。

地区大会も各地域の物産店を開き、梨北米コシヒカリのおにぎりのサービスやワインとつまみの販売をさせて頂きました。いろいろな工夫をしたお店が出展され、とても楽しかったです。

各クラブの地域貢献活動実施の際には、地区補助金を使っての活動が活発にされていた事も大変意義あることだと感じました。

ＩＭにつきましては、山梨全体で大村智博士を講師にお招きしての基調講演が出来ました。1,000名を超える会員及び一般の方に出席して頂き、意義ある大会になったことへの感謝と、４分区がまとまれば、こんなにも大きな事業ができるという自信にも繋がったのではないでしょうか。

いつも裏方になって活躍して頂いた、事務局に感謝し報告とさせて頂きます。

山梨第３分区 ガバナー補佐

田 中 雅 承（山梨中央ＲＣ）

2016年から2017年度の山梨第３分区ガバナー補佐を無事に務めさせて頂き、有難うございました。

ガバナー補佐に就いて直ぐ、国際ロータリーに於ける「規定審議会」での定款・細則の内容が大きく変わりました。

2016年版の「手続要覧」に記載の解釈につきましては、各クラブは「次年度クラブ計画書」の作成について、クラブ協議会において研究を重ね作成をして頂きたいのです。

「クラブ計画書」を作成する会長、幹事、クラブ財務担当は、年間１人当たりの必要経費は、ＲＩ人頭分担金、地区資金負担金、ロータリー財団寄付金、米山記念奨学金寄付、例会食事代、会場費、ガバナー招集登録料、クラブ事業費、親睦会費、事務職員経費等を加えたものですが、是非クラブ運営のために再確認をして下さい。

今年に入り「地区戦略計画委員会拡大会議」が有り、各クラブに於いて説明をし、検討の余地が有る話しとして、生子哲男ガバナーは分区に於ける各クラブの承認を求め、各分区に於いても考え直しを求める所も有り、思いの外難しさが出ています。

内容は今後の第2620地区を含めた日本のロータリークラブ改革の一端として、地区や分区の見直しを検討をする分区割り変更について議論が集中し、「地区諮問委員会」で再検討中、クラブに新風が吹き込まれるかどうか問題視されている所です。

「山梨４分区合同インターシティーミーテング」は一般の方にも参加して頂き成功裏に終了する事が出来ました。

第１部は「基調例会」。第２部は「記念講演」。ノーベル医学・生理学賞受賞の大村智博士に「微生物の働きと

国際医療貢献」と題して講演を頂き、第３部は「懇親会」。後藤 斎山梨県知事、樋口雄一甲府市市長、大村 智博士、生子ガバナー他のご来賓の方々にご参加頂き盛大に出来ました事を、「山梨４分区インターシティーミーテング」を開催致しました４分区のガバナー補佐の１人としてお礼申し上げます。

ガバナー補佐として、他にも幾つかご報告をしたい事も有りますが、原稿字数に制限を頂いておりますので、かいつまんだ報告になりました。

この１年間会員の皆様方や、ホストクラブの山梨中央ロータリークラブの方々、そしてガバナー補佐事務局の樋貝浩久事務局長には最後までお力添えを頂き感謝申し上げます。

皆様、誠に有難うございました。

山梨第４分区 ガバナー補佐

堀内 康雄（山中湖ＲＣ）

約２年程前、務まるかどうか不安の中ガバナー補佐の推薦を受け、昨年７月の就任からもう任期を終えようとしていますが時間の流れの速さにまさに光陰矢の如しを実感しております。

山梨第４分区ガバナー補佐として、ガバナー事務所のご指導のもと第４分区の年間事業計画を策定し実行してまいりましたが、各ロータリークラブの皆様のご支援とご協力を賜り、なんとかこなすことができました。

昨年９月のガバナー公式訪問、昨年７月から年４回の各クラブ訪問の際には、地区目標である会員増強と財団・米山記念奨学会等への寄付達成を各クラブへお願いいたしました。これらについては、各クラブの尽大なご努力により、全クラブがほぼ目標を達成する成果を得ることができました。

また、今年４月にノーベル賞受賞大村智博士をお迎えして、分区として初めての４分区合同ＩＭを開催したところ、一般を含め大勢の皆様のご参加を得て大盛会に終えることができましたことは喜ばしい限りでした。

この１年間のガバナー補佐活動を通して、勉強不足を痛感しながらもロータリーに対する理解を深め貴重な経験を積むことができました。これもガバナー・地区幹事役員の方々のご努力並びに各クラブの皆様のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げるとともに、これらの素晴らしい経験をこれからのロータリー活動や私の人生に生かしていきたいと考えております。

静岡第１分区 ガバナー補佐

沼田 渉（伊東西ＲＣ）

2015年８月、次期ガバナー補佐予定者に指名され、12月には第一回次期ガバナー補佐・地区委員長会議が開催されました。それから、あっという間に一年半が過ぎ、間もなく任期満了となります。

この一年、はたして生子ガバナーの補佐が務まったのか、心許ない気持ちです。しかし、多くの方々との出会い、そして交流を深められた事は大変貴重で得難い体験となりました。

ＩＭは、ガバナー補佐の大きな事業と捉えています。分区内の協力と、ホームクラブの応援・協力がなければ成し得ない事です。

静岡第１分区のエリアは、来春、世界ジオパーク認定なるかどうかの環境にあります。そこで基調講演を、共通テーマでもある「世界ジオパーク認定に向けて」と題して中川和之氏にお願いしました。講演Ⅱでは、自治体トップに聞く「ジオパークとは」をテーマに、伊東、熱海、下田の３市長による鼎談を開催。これからの伊豆半島活性化に、大いに影響があると思われました。

本年１月28日に行われた地区戦略計画拡大会議における「分区構成を見直す案」は、唐突な提案に感じました。生子ガバナー、そして各パストガバナーのご意見、11分区の各ガバナー補佐の意見も求められました。その後も分区再編の最終結論が出ない為、各クラブもモヤモヤが続いていました。

今まで渡邉地区幹事にはいろいろお世話になってきましたが、今回静岡第１分区新旧合同会長・幹事会を急遽開き、分区再編の再確認をする事になり、そこに渡邉地区幹事の出席を求めたところ了解が得られ、再編についての話を聞きました。その後も、夜遅くまで種々、質問に丁寧に答えて頂き、解散しました。

生子年度から松村年度にかけて構造改革が成され、地区の基盤強化が図られること祈念しています。一年間、大変ありがとうございました。

静岡第２分区 ガバナー補佐
亥角 裕巳（三島西ＲＣ）

思い起こせば２年前の夏、クラブのパスト会長会議で次期ガバナー補佐を選出するとのこと、ろくに考えもせずハイと言ってしまったのが運のつき。翌月には市の代表監査委員に任命され裁判所の調停委員も重なり、本業もおろそかには出来ず、人生一番忙しいことになってしまいました。それならばと開き直り、いままで出来なかったことをやろうとゴルフのレッスンプロにつき本格練習を開始することに。補佐会議が始まるころからスケジュール帳は翌年末までビッシリと埋まることになりました。

第１回のクラブ訪問の最中に、相模原の施設で障害者大量殺傷事件があり、また老人施設での大量不審死など、特別障害の子を持ち、親も老人施設でお世話になっている身として他人事と思えず「人の心の闇と、奉仕の理想を通じて自己を高めるＲＣの使命」をクラブ訪問の主題といたしました。

ＩＭも「ロータリーの原点を考えよう」をテーマに、三島西クラブが毎年奉仕をしている障害者施設「見晴学園」の協力を仰ぎ、その会場で素晴らしい絵画作品展を開催いたしました。ＲＣの活動も親睦・増強のみを目的とし、社会的弱者に対し無関心になりがちですが、それら作品を通し少しでも心の浄化が図れたと思います。

生子年度も終盤となり最終訪問を考えていたところ、突然、分区の再編成が持ち上がり大騒ぎとなりました。地区と各クラブの間に立つガバナー補佐の役割の大切さを改めて認識し、各クラブの本音をお聞きし、今までになく各クラブとの関係も深まっていったような気がいたします。私自身、ガバナー補佐として貴重な体験をさせていただき、改めて「人生一生勉強」の感を深めた次第です。関係各位のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

静岡第３分区 ガバナー補佐
前島 正容（富士宮ＲＣ）

本年度は、ＲＩ規定審議会の改定が様々な議論呼び、まさに「時代の流れ」を感じさせました。

本年は、ロータリーの公共イメージの向上でロータリーを広報し、先進な考えを持つ仲間を増やそうと会員拡大を試みました。加えて財団100周年事業や、手作りでのＩＭが開催できました。

そこでの多くのロータリアンとの出会いは、私の貴重な経験となり財産となりました。

こうした経験から、ロータリーは「例会」にあると実感しました。例会には常に「新鮮な情報」があり、一人一人が「自らの存在」を感じられることが、最も重要であると確信した次第です。

大小さまざまなクラブに歴史があり、個性豊かな会員が豊かな絆で結ばれる、その結果として、世の中の困っている人々に手を貸そうとする、素晴らしい心が育まれるのだと思います。

先人が百有余年にわたって築いたロータリークラブを、しっかりと継承してゆかなければならない、と感じた一年でありました。

生子ガバナーはじめ国際ロータリー第2620地区のすべてのロータリアンに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

静岡第４分区 ガバナー補佐
松下 正巳（清水ＲＣ）

国際ロータリー第2620地区、生子哲男ガバナーの下でガバナー補佐を務めさせていただきました。最初は不安が一杯で、私に務まるだろうかと半信半疑でスタートしました。

５月20日㈯、中島屋グランドホテルでの静岡中央ロータリークラブ創立30周年記念式典に出席しました。台湾から中和ロータリークラブ、奈良から平城京ロータリークラブもお祝いにかけつけてくれました。田辺信宏市長、志田洪顯パストガバナー、静岡第４分区各会長・幹事も出席しました。感心しましたのは、新入会員９名（内女性１名）増員しまして、ラグビーをきっかけに若い勤皇の志士が入会し、新しい時代の始まりを感じました。

静岡日本平ロータリークラブの40周年記念式典では、卒業生で現在は浄土宗大本山増上寺の執事長友田達祐さんにお会いしまして、大変勉強させていただきました。

駿河ロータリークラブのクリスマス会に出席した際は、佐藤会長のお嬢さんの演奏で“行く年来る年”を味わうことができました。

２月18日㈯、2016～2017年度のインターシティー・ミーティングでは、清水ロータリークラブ一丸となって、サッカー大榎克己氏の講演、清水の伝統芸能を鑑賞していただきました。９ロータリークラブ兄弟分が一堂に会しまして懇親を深めて頂きました。誠にご協力ありがとうございました。

これからも皆様に「ロータリーを楽しむ！ロータリーに入ってよかった」と感じるように持っていきたいと思います。地区大会の屋台店、物産展では、追分ようかん様、由比の銘酒「正雪」の神沢川酒造様、駿河ＲＣの桜エビの天ぷらの出店、ありがとうございました。

静岡第５分区 ガバナー補佐

朝比奈　潔（藤枝南ＲＣ）

2016年２月28日の研修セミナーがガバナー補佐としてのスタートでしたが、そのセミナーで改めて責任の重さを感じ、何とか約１年半の間、藤枝南クラブ、分区内各クラブのご支援、ご協力により、曲がりなりにも務めさせていただく事が出来ました。

特に本年は、スタート時に2016年４月のＲＩ規定審議会の決議により、例会は月２回、入会金無し等々各クラブの会長、幹事の方々は大変悩まれた事と思います。会長幹事会や各クラブ訪問には、必ず話題に出て来ましたが、結果的には各クラブの責任に於いて決めれば良い事で、クラブの裁量に依って運営が出来る柔軟性が出て来たととらえるようになりました。又､本年は財団100周年、或いは2020年日本のロータリーが誕生して100周年を迎えるので、準備の委員会の立ち上げ、その為の寄付。そして一番の問題の分区の再編等、頭を悩ます様々な問題に翻弄された１年で有りました。

しかし地区の一番の目標で有ります50名以下は純増１名、50名以上は純増２名を、分区内全てのクラブで達成出来た事は、各クラブ会長、幹事、増強委員長の努力の賜物で有り、感謝申し上げます。

又、各クラブの現状のアンケートを実施、年会費、夜間例会の数、例会のお食事会場費等々を集計、それぞれのクラブ運営に活かしていただくようにしました。分区内各クラブを訪問させて頂き、様々な活動をされ、例会の進行、運営についても色々と工夫し楽しい例会になるよう進めており、大変勉強になりました。

近年メーキャップで他クラブに訪問する事が無くなりましたが、特に入会３年未満の会員には勧めて良いと思います。以上、１年を振り返っての思いとさせていただきます。

静岡第６分区 ガバナー補佐

阿 部 浩 之（袋井ＲＣ）

“つながり”という言葉が私のライフワークですが、ガバナー補佐として何を伝える事が出来たのか疑問です。

ただ、ガバナーの地区目標をパワーポイントでお願いしてから、ガバナー訪問の後ＩＭ委員長とＩＭのＰＲ。感謝の気持ちで最終（第４回目）のガバナー補佐訪問をさせていただきましたが、今期はロ ータリー財団100周年記念、そして2016年度規定審議会での大幅な柔軟性を認める決定によりクラブの主体性を問われる年度となり、しっかり討議してクラブの特徴を活かしながら、柔軟性と多様性を取り入れたクラブ運営をお願いすると同時に、これからのロータリーを考える年度と言う事で、静岡第６分区のＩＭに、失礼と思いながらチャレンジ精神で、2012－2013年度の国際ロータリー会長である田中作次氏に講演をお願い出来た事が最高でした。

そして講演だけではなく、質疑応答の場を設けていただき、各クラブ幹事の質問に丁寧なご返答をいただきました。ロータリーの原点そして会員相互の素晴らしさを再確認出来、色閃の事を教わりました。

16年前にＩＭで植樹したエコパの桜201本（７ロータリークラブ）の観桜会では、皆様にご協力をいただき楽しい時を過しました。

2017年１月28日に地区戦略計画委員会拡大会議があり、突然の現在の11分区を山梨県３グループ、静岡県５グループに再編成するという、突然の分区編成にはびっくりしました。

静岡第６分区の会長・幹事会では70% 反対（各クラブ年齢別でアンケート取った結果）。再編成の理由は静岡第６分区では全てクリア出来ており、西部の商業圏との違いを強調、最後のガバナー補佐訪問は、感謝の気持ちは勿論ですが今までの状態の説明でいっぱいでした。良い編成になる事を祈っています。

静岡第７分区 ガバナー補佐
小杉 昌弘（浜北ＲＣ）

ＲＩ第2620地区、生子哲男ガバナーの方針を受けて、私は明るく元気にそして楽しいロータリー活動を展開することが出来ました。

これはガバナー補佐をしっかり支えようと、万全の支援態勢と事務局を担ってくれた浜北ロータリークラブの水口事務局長・小野次長の有能な仕事の賜物と、心から感謝する次第です。誠にありがとうございました。

生子ガバナーはジョンＦ・ジャームＲＩ会長の10項目の方針を受けて、次の４つの優先事項を選びました。

①会員増強（特に若い方・女性）、②財団年次基金への寄付、③ポリオ撲滅への寄付、④アトランタ国際大会への出席です。

この方針を確認し、８クラブ（浜松・浜松西・浜北・浜名湖・浜松中・浜北伎倍・浜松ハーモニー・パワー浜松）への理解をお願いし、強力な展開を進めることと致しました。

まず、会長幹事会を通じて会員増強の結果を毎月報告するように求め、特に女性会員の増強は各クラブの活性化に大いに貢献することをお話させて頂きました。

更にインターシティ・ミーティングのテーマも「女性が輝くロータリー」とし、各クラブから推薦された７名の女性会員によるパネルディスカッションも開催致しました。

更に特筆することは、2019～2020年度地区ガバナーとして地区初の女性がバナー安間みち子氏（浜松ハーモニーＲＣ）が誕生することとなり、女性活躍社会とロータリークラブの「女性会員倍増」計画を第７分区の目標として提案し、パネルディスカッションは大いに盛り上りました。安間ガバナーノミニー・デジグネートを私達は支援します。

２つ目の目標も各クラブの協力でクリア出来ましたし、３つ目のポリオ撲滅への寄付はＩＭの事業としても実施しました。

最後の国際大会への参加は、浜北８名・パワー浜松１名の計９名がアトランタに出掛けることとなっています。

第７分区の会長幹事の皆様、ご協力ありがとうございました。

ガバナー補佐の皆さん、一年間ありがとうございました。

「クラブ・ビルダー賞」の受賞について

地区では、ガバナー月信４月号でお知らせしたとおり、各クラブへ「クラブ・ビルダー賞推薦のお願い」を配信させていただき、５クラブから６名の方々の推薦を頂きましたので、次の皆様の受賞を決定させていただきました。

小林　成光	会員	甲府南RC	山梨第２分区
淡路　啓三	会員	市川大門RC	山梨第２分区
吉野　聖一	会員	沼津RC	静岡第３分区
實石　　学	会員	沼津RC	静岡第３分区
池浦　捷行	会員	浜松東RC	静岡第６分区
半塲　裕康	会員	浜松南RC	静岡第６分区

受賞された皆様、おめでとうございました。

「クラブ・ビルダー賞」は、「ロータリークラブのサポートと強化」のために尽力しているロータリアンを表彰するもので、候補者の方は、下記の受賞の基準を満たし、所属クラブの３名の元クラブ会長から推薦を受けなければなりません。

【受賞基準】

ロータリークラブ会員歴５年以上で、会員としての義務を果たしている。

- 少なくとも５名の会員を個人的に勧誘して入会させていること。また、本賞の候補者として推薦される時点において、入会したこれらの会員すべてが正会員としてとどまっていること。
- 所属クラブでロータリーの研修に参加したことがあること。
- クラブレベルで少なくとも１つの意義ある職業奉仕プロジェクトに参加したことがあること。
- 推薦される直前の過去３年間に、少なくとも２回の地区会合に出席していること。

Rotary 甲府シティロータリークラブ

甲府シティＲＣ創立25周年記念式典

甲府シティＲＣ会長　河　村　二四夫

甲府シティロータリークラブは、５月17日㈬　ホテル談露館で創立25周年記念式典を開催致しました。

創立以来、この25年間に思いを馳せますと、歴代の会長の真摯なるロータリーへの姿勢と、奉仕の理想に集った会員の尽力に万感胸にせまるものがございます。

当日は、国際ロータリー第2620地区生子哲男ガバナーをはじめ、御来賓、ロータリアンのご出席を賜り、多くの励ましのお言葉を頂戴致しました。又、本年周年事業を進めるあたり積極的な国際奉仕事業を展開してまいりましが、その集大成として「国際社会におけるスリランカと日本」と題し、在日スリランカ大使館サマンタ・ウィジャセーラカ公使参事官並びに日本貿易振興機構の橋本文子氏、菅原寛正氏の各氏、エリヤーワ・ラシタ・アサンカ米山記念奨学会学友をパネラーに、国際シンポジュームを開催致しました。

活発な意見交換は「アジアに於ける日本」「日本に於けるアジア」を論じ合えた絶好な機会だったと自負しております。このように、私たちのささやかな行動が、やがては奉仕の大輪の花となる未来を信じ、今後とも充実なる奉仕活動を続けてまいりたいと思います。

Rotary 浜松東ロータリークラブ

浜松東ＲＣ創立60周年記念式典

浜松東ＲＣ会長　神　谷　竹　彦

60年前、浜松東ロータリークラブは、浜松ロータリークラブをスポンサークラブとして、1957年（昭和32年）５月24日創立総会開催。故河合滋氏初代会長、創立会員21名、平均年齢48歳。静岡県で９番目、県西部地域では２番目。６月17日ＲＩより加盟承認、11月17日浜松市立高校講堂にてチャーターナイト挙行と記録されています。

人生ならば還暦を迎えた今年度、活動テーマを「REBORN―未来は足元から」として、会員一同で“これからの浜松東ロータリークラブにとって何が大切なのか”を考える一年を過ごしてきました。

ここに60周年を迎えるにあたり、私たちは世界の平和を基本としたロータリー理念のもと、奉仕のために集い、奉仕の心を持ち続け、そしてその活動エネルギーは、会員同士が理解し合う親睦から生まれるとの想いを新たにし、先輩たちが築いてこられたこの奉仕の心を次代に繋げていくことを宣言いたします。

60 周年実行委員会 実行委員長　堀　部　莞　爾

60周年記念式典実行委員長を仰せつかりました堀部です。浜松東ロータリークラブ60周年を語るには、少しおこがましい私ではありますが、それでも入会以来38年となりました。

ＲＣは、大人になっても同じ釜の飯を食べた仲間であり、格別なものであります。したがって、何でも語り合える真の友達であります。

さて、私たちの職業で商売も本当に厳しいものですね。それでも身を粉にして皆さん働いてまいりました。経済的には豊かになっても、ハタと自分を顧みた時、何かむなしいものを感じませんか？　世の中の役に立つ事こそ“いきがい”ではありませんか！それならば、ひとりで社会に奉仕するより、ＲＣの仲間となら、より大きな奉仕活動ができます。

私達、浜松東ロータリークラブの仲間は、先輩ロータリアンの伝統を守り、60周年を迎えるにあたり、本物の社会貢献を目指し更に発展したいと願っています。

Rotary 静岡中央ロータリークラブ

静岡中央ＲＣ創立30周年を終えて

静岡中央ＲＣ会長　南　條　恭有紀

静岡中央ロータリークラブは５月20日㈯　創立30周年記念式典・祝賀会を中島屋グランドホテルで開催しました。

式典では、ご来賓の田辺静岡市長、生子ガバナー、張会長（第3480地区 中和ＲＣ）、三浦会長（第2650地区 平城京ＲＣ）からご挨拶を頂きました。又、パストガバナー、ガバナー補佐、市内クラブの会長・幹事20名の皆様、台湾 中和ＲＣから30名、平城京ＲＣから13名、静岡県ラグビーフットボール協会及び静岡ラグビースクールから２名の計75名のご来賓の皆様にご臨席を賜りました。

会長挨拶の後、溝口明範30周年実行委員長から26周年から30周年までの事業報告と、30周年の歩みのDVDを放映しました。そして、25年以上在籍の会員10名の表彰、事務局久保田さんへの感謝状、今年度入会した９名の紹介を行い、無事式典が終了しました。

南條恭有紀会長

溝口明範実行委員長

祝賀会は、静岡第４分区ガバナー補佐の松下正巳様の心のこもった乾杯の後、ゆっくりしたご歓談、そして「心をつなぐ歌謡ショー」が開催され、ものまねタレント“坂本冬休み”による歌マネやトークで大変盛り上がり、短いひとときではありましたがご来賓並びに会員と会員のご家族の皆様と楽しい時間を共に過ごすことが出来ました。

そして姉妹クラブの台湾 中和ＲＣと平城京ＲＣの皆様とは益々、友情を深められたと感じております。

最後に創立30周を迎え盛大に式典を開催出来ましたことを、関係各位に心より感謝申し上げます。

写真左上：25年以上在籍の会員の表彰、写真右上：今年度入会者の紹介

Rotary パワー浜松ロータリークラブ

パワー浜松ＲＣ創立15周年記念式典

パワー浜松ＲＣ会長　近　藤　雅　彦

５月27日㈯に、浜松アクトシティ コングレスセンター43会議室において、パワー浜松ロータリークラブの創立15周年記念式典を開催させて頂きました。

当日は当クラブチャーターメンバーでもあり名誉会員の鈴木康友浜松市長、生子哲男ガバナー、2620地区静岡第７分区の小杉昌弘ガバナー補佐や会長・幹事など、多くのご来賓を迎えての開催となりました。

式典では「設立時の『どこにもない新しいクラブを作るんだ。』という思いを今一度胸に刻み、20周年に向けてロータリー活動を更に充実させていきます。」と会長挨拶をさせていただきました。

15周年の歩みを歴代会長のインタビュービデオと活動の映像で紹介した後、今年度、夢計画として行われた15周年記念事業の「浜松市防潮堤の松の植栽事業」と、「浜松東小学校10周年記念の松の記念樹事業」の２つの事業が、それぞれ映像と担当したロータリー財団委員会 小澤副委員長と財団プログラム部会 髙貝部会長により報告されました。

防潮堤の植栽事業についてはYouTubeで公開しています。パワー浜松ロータリークラブで検索して、是非ご覧ください。ドローンを使った映像となっており、当クラブオリジナルのロータリーソング「夢のみずうみ」がBGMに使われています。記念樹事業についても準備が出来次第、公開してまいります。

その後式典では、ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付が行われ閉幕となりました。

祝宴はオークラアクトシティホテル浜松へ場所を移し、金山パスト会長の乾杯の音頭で始まりました。アトラクションとして当クラブのメンバーと元メンバーでほぼ構成されたパワーバンドのアコースティックでのライブ演奏が披露されました。

最後にパワーバンドの生演奏による「手に手つないで」を全員で歌い、お開きとなりました。

ご来賓の皆様、本当にありがとうございました。そしてメンバーの皆様、ご協力頂いた皆様、お疲れ様でした。

Rotary 浜松西ロータリークラブ

浜松西ＲＣ創立40周年記念式典・祝賀会

浜松西ＲＣ会長　中　村　泰　之

６月３日㈯、ホテルコンコルド浜松において、浜松西ロータリークラブ創立40周年記念式典・祝賀会を開催しました。

当日はご多忙の中、多くのご来賓の皆様にご臨席を賜りありがとうございました。クラブの会員を代表して心より厚くお礼申し上げます。

浜松西ロータリークラブは、1977年６月３日（式典が行われた日のちょうど40年前）に、浜松北ロータリークラブをスポンサークラブとして27名の会員で誕生しました。そして、40年の歴史を経て、現在は53名の会員で活動しています。式典当日は、当クラブの初代会長で、現在名誉会員でもあります坂本武夫氏ご夫妻がご出席の予定でしたが、直前に体調がすぐれず欠席となってしまったのが残念です。

創立40周年の記念事業としては、浜松市内の「社会福祉法人葵会 児童養護施設 清明寮」に、要望がありました軽自動車１台と遊具を贈呈させて頂きました。

記念事業に関しましては、昨夏に会員から事業提案を募り、それを理事会で整理・集約し、会員アンケートを経て一案に決定しました。具体案につきましては、記念事業委員会を立ち上げ、そこで詳細を詰めて行く中で、清明寮への支援が決定し、式典の一ヶ月前の５月12日㈮に一足早く現地で贈呈式を済ませました。

浜松西ロータリークラブは、次の大きな節目となります創立50周年に向けてさらに歩みを重ねてまいります。今後とも浜松西ロータリークラブに皆様方の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いして、創立40周年式典の報告とさせて頂きます。

Rotary 御殿場ロータリークラブ

御殿場ＲＣ創立50周年記念式典・記念事業

記念事業講演会講師、名古屋大学教授の天野 浩 先生

御殿場ＲＣ会長　石　川　又　英

御殿場ロータリークラブは、創立50周年記念式典を11月５日、新装になりましたＹＭＣＡ東山荘に於いて、生子哲男ＲＩ第2620地区ガバナーをはじめ、若林御殿場市長・込山小山町長・近隣クラブの皆様、各方面よりの多数のご来賓の方々、またメンバーの奥様方のご臨席を賜りまして盛大かつ厳粛の内に挙行されました。

当クラブは1967年６月１日、沼津北ロータリークラブをスポンサークラブとして、30名のチャーターメンバーで創立されました。以来50年、諸先輩方のたゆまぬ熱意と努力の積み重ねにより、今日があるものと深く感謝いたします。

式典では、生子ガバナー、ご来賓の皆様方々より示唆に富むご祝辞を賜り、記念事業として、ロータリー財団、米山梅吉記念館、御殿場市、小山町、東山荘への寄付金贈呈が行われました。また、創立会員であり50年間皆出席の菅沼久君には奥様共々、表彰状と記念品を贈呈し、またエイジドメンバーも表彰致しました。

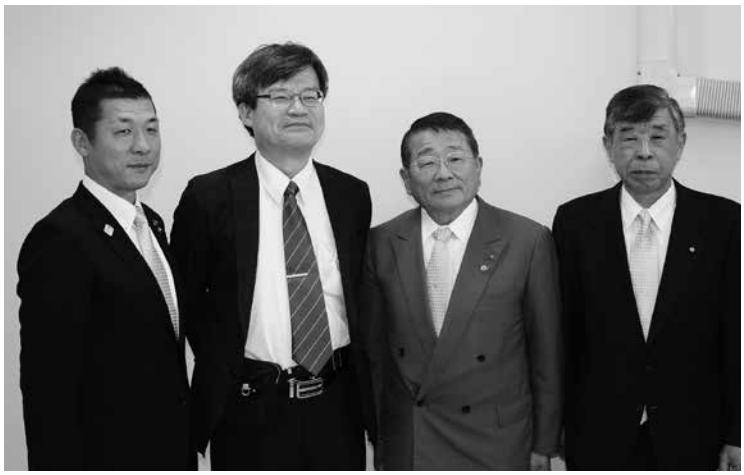
当日の記念講演は「Seeing is believing 体験から学んだ事」と題して、教員海外派遣受講者、小山中学校教諭の羽佐田晴子様に貴重な講演を頂ました。祝宴ではそれぞれ懇親を深めることができました。

そして、迎えた2017年５月27日、50周年記念事業として御殿場市民会館大ホールに於いて、2014年ノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学教授の天野浩先生の講演会を開催しました。

創立50周年のテーマ「子どもたちの未来に残すもの」にふさわしい講演をお願いできる方、というコンセプトから天野浩先生にたどり着きました。なんとか当日を迎えられたのもクラブのメンバーでもある若林御殿場市長の尽力に寄るところがありました。

当日は、御殿場市・小山町にある４高等学校の生徒をメインに約800人が聴講しました。テーマは「世界を照らすＬＥＤ」。

先生が研究を通しての経験や青色ＬＥＤの仕組み、また、ノーベル賞受賞時のエピードなどを分かりやすく講演されました。先生は高校生に向けて「夢に向って全力で進んで欲しい」、「今ある状況から逃げないこと」、「自分で考えて行動する」、「いつかは自



写真左：若林市長、天野先生、石川会長、長田実行委員長　写真上：天野先生と渡邉地区幹事

分の未来を決める場面に遭遇する。その時は一心不乱に立ち向かいなさい」、「決してあきらめてはいけない」などと激励のことばを送って頂きました。

聴講した高校生からは多くの質疑が先生に出され、先生も真剣に応答をして頂きました。講演後、先生からは高校生がたくさん質問をしてくれて楽しかった。とコメントされていました。

この日の機会が若い人達に感動を与え記憶に残ってくれたならば幸いです。

Rotaract
ロータリーのパートナー

RI2620地区 ローターアクトクラブ地区事業
フィリピン公立高校 学用品支援

2016-17年度ローターアクト地区代表　山　田　幸　弘（静岡RAC）

今年度、第2620地区のローターアクトクラブでは、地区の国際奉仕事業として、フィリピンの公立高校への学用品支援を行いました。

この事業は第2620地区がチャリティーバザー等を開催して資金を提供し、フィリピン第3820地区が学用品の導入及び保守を行う事業で、現在フィリピンへの送金が完了し、家庭科教室への機材購入を検討しています。

ローターアクトが外国の地区と合同での国際奉仕事業行うことは非常に難しく、全国的にも珍しい実績として他地区に誇れる活動となりました。

この事業で行ったバザーと義援金の内訳は次の通りです。

第１回バザー　清水マリンパーク	
（主催：静岡３RAC）	37,920円
第２回バザー　甲府駅	
（主催：甲府南RAC）	43,770円
第３回バザー　清水マリンパーク	
（主催：静岡３RAC）	30,870円
義援金	
（静岡RC 60,200円、静岡北RC 5,000円）	65,200円
合計金額	177,600円

ロータリアンの皆様のご協力、誠にありがとうございました。

新会員紹介

① 入会日
② 職業分類
③ 趣味

星野　正人

駿河ＲＣ
（静岡第４分区）
①2017年４月13日
②葬祭業
③サッカー、フットサル、サーキット走行、旅行、コーヒー

藤牧　泰久

駿河ＲＣ
（静岡第４分区）
①2017年４月13日
②銀行業
③音楽

内山　大

新富士ＲＣ
（静岡第３分区）
①2017年４月25日
②生命保険業
③ゴルフ

青島　大昌

焼津南ＲＣ
（静岡第５分区）
①2017年５月９日
②土木建築業
③料理、ゴルフ練習中

城之内　豪

都留ＲＣ
（山梨第４分区）
①2017年５月11日
②建設業
③ゴルフ

岡田　好史

焼津ＲＣ
（静岡第５分区）
①2017年５月11日
②地方銀行
③ゴルフ・スポーツ観戦

小島　万記

静岡日本平ＲＣ
（静岡第４分区）
①2017年５月12日
②生命保険
③旅行

竹内　宏幸

浜松ハーモニーＲＣ
（静岡第７分区）
①2017年５月17日
②応用電子機器設計・製造
③アマチュア無線、釣り、ゴルフ

脇永　勉

静岡東ＲＣ
（静岡第４分区）
①2017年５月18日
②IT 総合商社
③ゴルフ、散歩

大津　滋

静岡日本平ＲＣ
（静岡第４分区）
①2017年５月19日
②生命保険
③読書

白附　由光

静岡西ＲＣ
（静岡第５分区）
①2017年５月24日
②信託銀行
③音楽鑑賞・演奏

矢内　文浩

浜松ハーモニーＲＣ
（静岡第７分区）
①2017年５月24日
②開運サポート・開運鑑定
③スイミング、紅茶入れ

加藤　和哉

都留ＲＣ
（山梨第４分区）
①2017年５月25日
②土木業
③特になし

渡邉　真司

沼津ＲＣ
（静岡第３分区）
①2017年５月26日
②水産物加工卸
③ゴルフ

近藤　弘

静岡西ＲＣ
（静岡第５分区）
①2017年5月31日
②生命保険
③剣道、ダイビング

伊藤　大介

富士山吉原ＲＣ
（静岡第３分区）
①2017年６月１日
②建材製造
③ゴルフ

下山　靖史

富士山吉原ＲＣ
（静岡第３分区）
①2017年６月１日
②機械設計
③キャンプ

松田　有祐

浜松南ＲＣ
（静岡第６分区）
①2017年６月１日
②証券
③ゴルフ

南　裕通

浜松南ＲＣ
（静岡第６分区）
①2017年６月１日
②介護施設
③筋トレ

細田　和広

静岡東ＲＣ
（静岡第４分区）
①2017年６月８日
②証券業
③読書

武田　弘樹

静岡東ＲＣ
（静岡第４分区）
①2017年６月８日
②証券業
③ミュージカル鑑賞・読書

松丸　隆治

甲府南ＲＣ
（山梨第２分区）
①2017年６月13日
②生命保険
③ゴルフ、釣り

野元　護

袋井ＲＣ
（静岡第６分区）
①2017年６月13日
②石材加工販売
③バイクツーリング

井上　拡

静岡ＲＣ
（静岡第５分区）
①2017年６月19日
②通信事業
③スキー、ゴルフ

田島　一也

静岡ＲＣ
（静岡第５分区）

①2017年６月19日
②生命保険
③ゴルフ、テニス、旅行

渡邊　哲朗

静岡ＲＣ
（静岡第５分区）

①2017年６月19日
②ビール製造
③映画鑑賞

島　直也

静岡西ＲＣ
（静岡第５分区）

①2017年６月21日
②コンサルティング業
③登山、自転車、釣り、音楽

佐藤　央恭

浜松ハーモニーＲＣ
（静岡第７分区）

①2017年６月21日
②税理士
③スポーツ観戦・散歩

野々垣 博紀

静岡ＲＣ
（静岡第５分区）

①2017年６月30日
②証券業
③ゴルフ

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会ニュース

ハイライトよねやま 207号

2017年6月12日発行

ロータリー米山記念奨学会では、最新ニュースをお知らせする「ハイライトよねやま」を発行しています。
ガバナー月信に掲載記事の続き、および、そのほかの記事はホームページでご確認ください。

今月のトピックス

- 寄付金速報
- 第２回次期地区米山奨学委員長セミナーを開催
- 理事会開催報告
  — 来年４月採用数は40人増の820人に —
- モンゴル米山学友会総会に
  日本から80人が参加
- 米山翁の思いを伝える植樹に奨学生らが参加
  — 青森ＲＣ —

《今月のピックアップ記事》

モンゴル米山学友会総会に日本から80人が参加

モンゴル米山学友会の総会が５月14日、ウランバートル市内で開かれ、学友40人、来賓９人、日本からは当会の小沢理事長を含めロータリアンが約80人参加する盛会となりました。

総会では、年間の活動報告につづき、同学友会の「2016年度最優秀会員賞」にトゥメンデルゲル・バヤンバットさんが表彰されました。また、役員の改選が行われ、新会長にはシルネン・ブヤンジャルガルさん、幹事にトゥメンデルゲルさん、ほか８人の理事が就任しました。

ブヤンジャルガル新会長は、「モンゴルのロータリークラブにわれわれ学友会の活動をもっとＰＲし、日本のクラブとの懸け橋になって、米山奨学金の情報を広く提供していきたい」と抱負を語り、学友会の発展を誓いました。

また、今回の訪問中、当会小沢一彦理事長がモンゴル国大統領からナイラムダル（友好）勲章を授与され、「この名誉ある叙勲は私個人ではなく、日本のロータリアンが支えるロータリー米山記念奨学事業へいただいたものだと思っている」と、感謝の言葉を述べました。

《お知らせ》

「感謝 in 熊本」にぜひご参加ください！

財団設立50周年を記念し、世界の米山学友が主催するイベント、「感謝 in 熊本」が開催されます。米山奨学生、国内外の学友はもちろん、ロータリアンやご家族の参加も歓迎いたします。

ふるってご参加ください（要事前登録）

日　時：2017年８月26日㈯　17：00 ～ 21：00（16：00 受付開始）
場　所：ＡＮＡクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
登録料：ロータリアン：10,000円、米山学友・奨学生：5,000円、
　　友人・ご家族：　6,000円

詳細は当会 HP をご覧ください。　http://www.rotary-yoneyama.or.jp/50th

記事の続き、および、そのほかの記事は、ぜひ PDF 版をご覧ください。
→ http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight207_pdf.pdf

地区からの お知らせ

富士山ローターアクトクラブ解散のお知らせ

富士宮西ロータリークラブが提唱クラブとして活動していました「富士山ローターアクトクラブ」が、会員の減少に伴い、今後継続的な活動が不可能になったという理由で、2017年６月30日付をもって解散することになりました。

やはり会員数減少で休会となっていた浜松ローターアクトクラブが、2017-18 年度から活動を再開するという嬉しい情報があるなか、大変残念ですが、国際ロータリー日本事務局を通じて国際ロータリーへ報告をいたしました。

2016-2017 ガバナー事務所閉鎖のお知らせ

新年度のスタートに合わせ、国際ロータリー第2620地区 2016-2017年度ガバナー事務所は、2017年６月30日をもって閉鎖となりました。

ガバナーエレクト事務所として2015年７月からスターとして２年間、地区のロータリアンの皆様からのご指導と、多大なご協力により何とか無事に年度を終了する事ができました。これも皆様のお蔭と心から感謝申し上げます。

なお、７月１日から８月末までは直前ガバナー事務所として残務処理にあたりますので、残り少ない期間ではございますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。

生子年度ガバナー月信発行を終えて

2016年７月から毎月発行してきた生子年度のガバナー月信も、この第13号で最終号となりました。ガバナー補佐をはじめ地区役員・委員の皆様、地区内各クラブの皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

訃　報

青島 弘明 様
（享年 67歳）
静岡日本平ＲＣ
平成29年６月５日ご逝去

齋藤 渉 様
（享年 90歳）
甲斐シティーＲＣ
平成29年６月22日ご逝去